

汐見台まちづくりニュース (No.2)

～まちづくりアンケート結果特集～

2020年8月1日
汐見台自治会連合会
汐見台まちづくり委員会

汐見台まちづくり委員会では将来のまちづくりを検討していくため、汐見台のまちに対する住民の皆さんのご意見をお聞きするため、全戸アンケートを実施しました。

(実施概要：実施期間3月1日～3月31日。配布数3261枚、回収数1246枚、回収率38.2%)
回答いただいた皆様、配布・回収にあたっていただいた自治会長の皆様、ご協力ありがとうございました。
このニュースでは、アンケート結果の概要をご案内します。詳細なデータは自治会連合会HPをご覧ください。
(www.shiomidai.org)

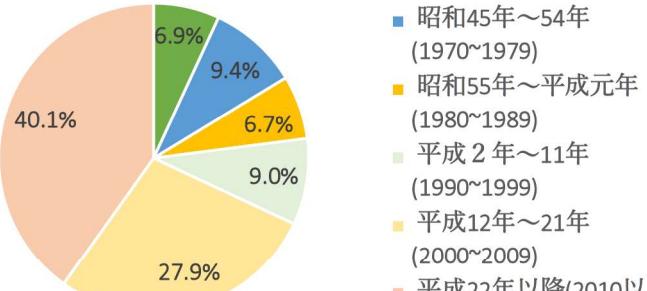
【住居形態】



県住宅供給公社が管理する「公社賃貸」が1割、昭和30年代後半、汐見台開発当初に分譲された「旧分譲」が3割、開発当初にあった社宅や寮をマンションに建て替えた「新分譲」が5割、社宅・寮が1割となっています。

【住み始めた時期】

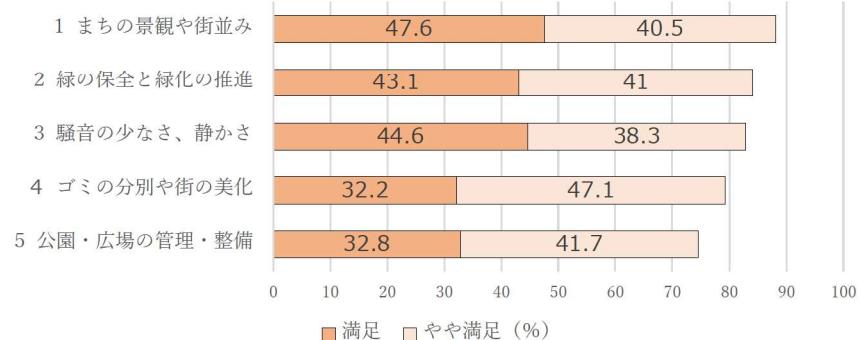
30年以上居住している人が四分の1。
20年末満が3分の2となっています。
特に居住歴10年未満が4割となっています。また、新分譲で住んでいる人の中にも、汐見台の中で転居している人が多くいることが建物の築年数と居住歴の関係から伺えます。



(汐見台まちづくり委員会とは)

汐見台自治会連合会の委員会の一つとして、一昨年から将来のまちづくりの方向性の検討を始めています。
委員会は横浜市都市整備局にまちづくり団体登録を行い、現在専門家の派遣や財政的な補助を受けながら磯子区役所とも連携しながら活動を進めています。

汐見台の生活で満足なところ



【汐見台の生活で満足なところTOP5】

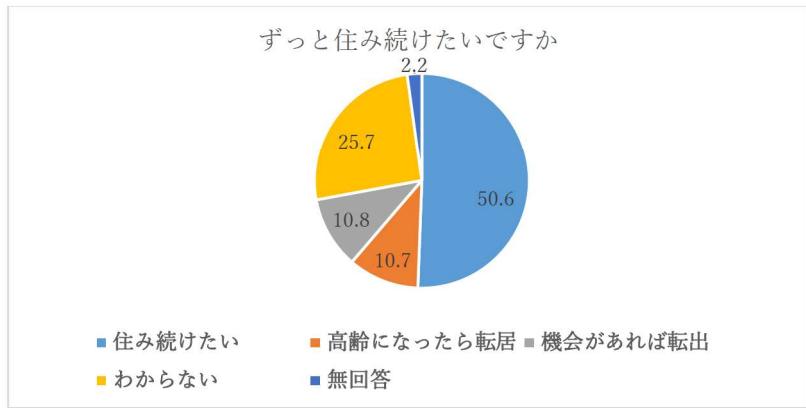
「景観・街並み」、「緑の保全」、「公園・広場」など計画的に整備された汐見台の特徴が満足度の高さに現れています。「景観・街並み」については「新分譲」では9割以上が満足と答えており、汐見台の街並みの良さに惹かれて転居してきたことが伺われます。「新分譲」では「育児や子供の教育環境」も8割が満足と答え、「鉄道駅の利用のしやすさ」では「公社賃貸」、「旧分譲」が7割前後の満足度となっています。全般的に「公社分譲」、「旧分譲」の満足度が高くなる傾向が見られます。自由記入欄からは「公園が近く子供を遊ばせやすい」、「歩道が整備され安全に歩ける」といった街並みに対する評価が書かれています。

汐見台の生活で不満なところ



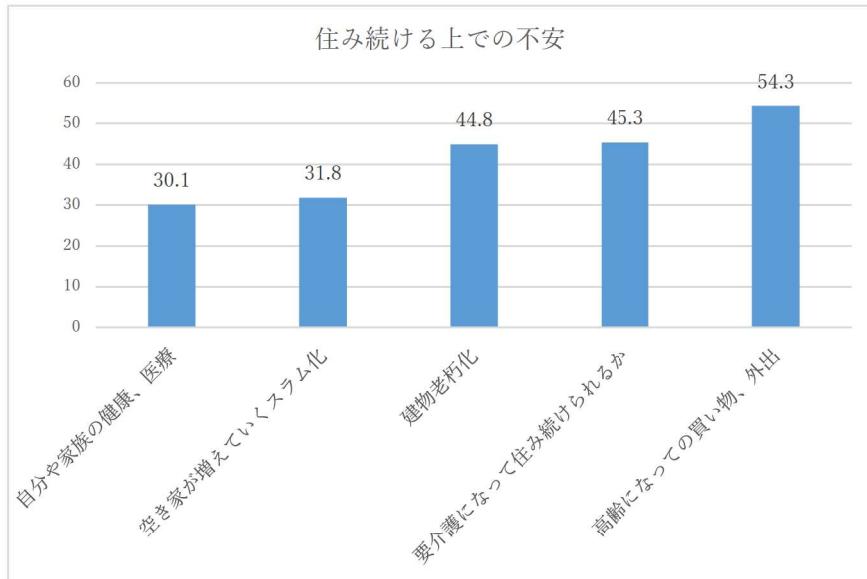
【汐見台の生活で不満なところTOP5】

満足度の高さに比べると不満なところは少ない結果となっていますが、不満度の高い順に並べると上記のグラフとなります。「レクリエーション施設」、「地区センター、図書館、スポーツセンター」など生活を潤す施設が地区内にない事から不満度が高くなっています。また、商店や飲食店が少ないと日常的な買い物や飲食についての満足度も低くなっています。「鉄道」や「バス」といった交通機関についても満足度が低くなり、「30代」では半数が不満と答えています。一方、バスについては65%が「満足」とも答えています。交通機関への満足度は年代が低くなるほど低くなる傾向が見られます。自由記入欄からは「バスの本数や上大岡駅からのバスの時間がかかること」、「中央商店街の充実」、「公社の公園の管理の充実」に対する要望が寄せられていました。また、気軽に立ち寄り飲食ができる店の充実やそれを作つてみたいという意見も寄せられていました。



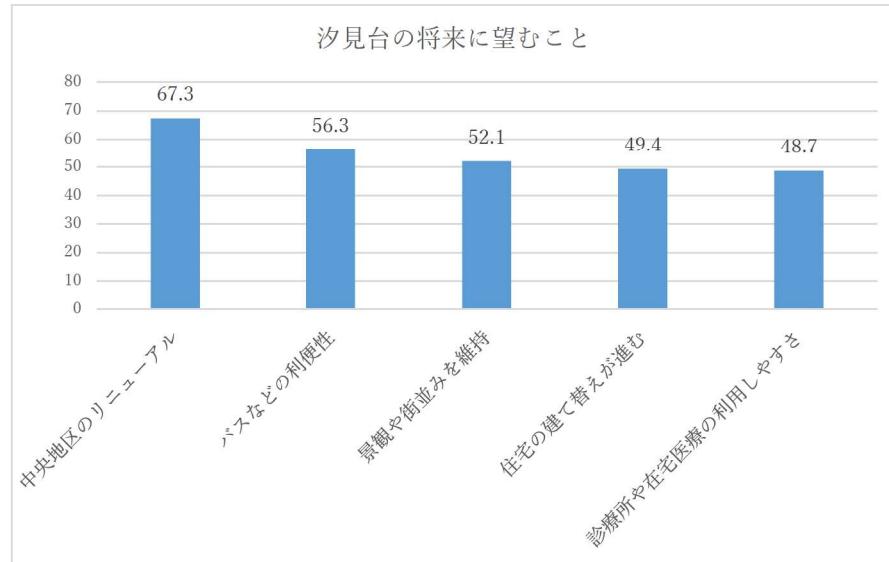
【居住の希望】

半数のかたが「ずっと住み続けたい」と答えています。全年齢で見ても半数以上のかたが、住み続けたいと答えています。この割合は、年齢とともに高くなります。



【住み続ける上での不安】

「高齢になっての買い物、外出に関する不安」が半数を超えるほか、「介護になったとき」、「自分や家族の健康、医療」など、高齢化や健康、医療に対する不安が高くなっています。高齢化になっての買い物・・・については「30歳代」でも6割近くに達するなどすべての世代で半数を超えており、「建物の老朽化」や「空き家が増えていくスラム化」についても不安がよせられており、「老朽化」は年齢が高くなるほど高くなり、「スラム化」は各年代で同様の傾向が見られます。「日分譲」では半数近くが不安を感じています。



【汐見台の将来に望むこと】

A コープなど商店街がある「中央地区のリニューアル」を望む声が3分の2を超えています。「バスの利便性」、「住宅の建て替え」や「診療所や在宅医療」など街の機能の充実を望む声が高い一方、「景観や街並みの維持」を望む声も多くあります。「中央地区のリニューアル」については「新分譲」、「30~39歳」、「40~49歳」でそれぞれ78%となっており、これから長く住み続けるであろう人たちから特に高い希望が寄せられています。

【今後のまちづくりの進め方】

「自治会連合会・自治会・管理組合や福祉等関係団体が協働で活動を進める」が53%、「ニュースなどで住民全体に情報を逐一詳しく知らせながら進める」が39%となっています。

今後まちづくり委員会ではワークショップの開催などを通じて、皆さんとまちづくりの課題の共有や解決策の検討などを進めていきたいと思います。ご参加をお待ちしております。また、まちづくりニュースの発行などにより活動状況の報告を行なっていきます。

編集後記

皆さんからいただいたアンケートは、まちづくり委員会が手分けして入力作業を行いました。自由記入欄に書いていただいたコメントを入力しながら、このような思いで街のことを見ているのだと、選択肢の番号をひたすら入力しながらも、その数字からその人の生き方や考え方を読み取れました。アンケートにより得られた住民の皆さんのニーズや思いを今後の活動に役立てていきたいと思います。

アンケートの回収率は4割弱となっていますが、横浜市など自治体で実施する調査の回答率も4割から5割であることを考えると高い回収率となり、住民の皆さんの関心の高さを感じることができました。

◆汐見台まちづくり委員会メンバー募集◆ 汐見台の将来のまちづくりについて一緒に検討に参加していただける方を募集しています。専門的な知識がなくても、この汐見台を良い街にしたいという前向きな気持ちをお持ちの方のご参加をお待ちしております。オブザーバー参加でもOKです。●連絡先：汐見台自治会連合会事務局 汐見台まちづくり委員会 TEL・FAX：045-754-5281 www.shiomidai.org